

# 幼児一人一人が 未来の創り手に —幼児教育 Q & A—



一般社団法人保育教諭養成課程研究会

# 人はどのよう

## 0歳から5歳へ、そして学童期へ、

### 人は周囲の環境に自ら働きかける力をもつ

- ◆ 人は生まれながらにして、自ら育つ力、周囲の環境に能動的に働きかけようとする力をもっています。
- ◆ 幼児の心身の諸側面は、それぞれが独立して発達するものではなく、遊びの中で相互に関連し合って発達していきます。
- ◆ 幼児期は自己を表出することが中心の生活から、他者と関わり合う生活を通して、自我の発達の基礎が築かれていきます。

#### 0歳



愛情に包まれて  
すくすく育つ

★視覚、聴覚等の感覚が育ち、座る、這う等の運動機能が発達します。特定の大人との関わりを通じて、情緒的な絆が形成されます。

♥愛情深く応答的で穏やかな関わりを重ねます。

#### 1歳



自分で歩き出し  
世界と出会う

★身体的な成長や感情表現の成長が著しい時期です。

手で感触を確かめ、道具も使うようになり楽しさが広がります。

♥安全に十分気を付け、子どもの動きや気持ちを支えます。

#### 2歳



イヤイヤニコニコ  
いろいろな気持ち

★自我が最も発達します。言葉も増えてきて、おしゃべりが楽しくなり友達と同じ動きを楽しむようになります。

♥いろいろな体験を親子で楽しみ感じる経験を重ねていながら、子どものやりたい気持ちが育っていきます。

#### 3歳



やりたいことが  
いっぱい

★言葉も滑らかになり一人でできることが増えてきます。

「これが好き」「もっとやりたい」と自分の気持ちを出しながら遊ぶようになります。

♥うれしい気持ちを受け止め楽しく遊ぶ時間を大切にします。

#### <表記の説明>

★発達の特徴

♥教師や保護者の関わり方のポイント

《安心・安定 + 広がり》

《安心・安定》 幼児が健やかに育つ基盤

# にして育つの？

## 発達や学びはつながっていきます

4歳



自他の違いに  
気付く

★言葉や運動などが成長する時期です。楽しい経験を重ねると同時に、自己主張し友達とぶつかるなど葛藤体験を通して友達の思いにも気付きます。

♥自分のやりたいことにじっくり取り組む姿を大切に認めていきます。

5歳



自己を調整し  
学びへと向かう

★友達と力を合わせて遊びや生活を作り上げる満足感や、自分の思いを発揮して遊びを創り上げる達成感を味わい、自信を付けていきます。

♥協働して取り組める機会を作り、力を発揮している姿を認めていきます。遊びの中で学びを深めている姿を受け止めていきます。

自ら学ぶ  
小学生  
中学生

青年

大人

### 家庭と園で連携し、 協働して育てる

- ◆ 生活の場や対人関係の広がりに伴って、興味や関心が様々な対象に向けられる中で思考力の基礎が培われていきます。
- ◆ 幼児期の教育は、家庭と園で行われ、両者は連携し、協働して一人一人の育ちを促すことが大切です。

《充実・発展》 様々なものや人と関わりを深め自分の世界を広げていく  
様々なものや人との関わりを通して好奇心・探究心・協同性等が育つ

# 幼稚園・幼保連携型認定こども園では、 どのような園生活

## 遊びや生活を中心として一日を送っています

〈ある園の1日〉

登園



園に来ると教師や友達を挨拶を交わし、自分で身支度をします。

遊び



戸外や室内で自分のやりたい遊びを始めます。片付けもします。

昼食



昼食時は手洗いやうがいをし、机を拭く、挨拶をするなど、当番活動も行います。

遊び

昼食後も遊びの続きをしたり、学級みんなで活動をしたりします。



降園前にはその日一日の遊びや生活を振り返り、翌日の園生活に期待をもちます。

降園



夕方までの保育や、預かり保育もあります。

# をしているの？

四季の自然や行事等を通して、豊かな体験をしています

〈ある園の1年〉

春



春は、入園、進級と環境が変わる季節です。

夏



夏は、水を使った砂遊びやプール遊びなど、開放感を味わいながら活動します。

秋



秋には、運動会をしたり、秋の自然に触れて思い切り遊んだりします。

冬



冬には、餅つきや節分を行います。各園では、毎日の自発的な遊びに加えて、四季折々の自然に触れたり伝統的な行事を行ったりして、豊かな体験をしています。

# 幼児期に育てたいものは？



自立心を育み、人と関わる力を養います



好奇心や探究心を育み、生活に取り入れる力を養います

## 幼稚園教育等において育みたい 資質・能力を育んでいくことです

### 知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする

### 思考力、判断力、表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

### 学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする



自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養います



相手の言葉を聞き、自分の言葉で表現する力を養います



自分なりの表現を通して、豊かな感性と表現する力を養います

# 自己を表出し、ものや人と関わる 力が育つには？

## 遊びを通して育ちます



安心してのびのびと動いたり、自分の思いを出したりすることが、園生活の基盤です。



興味や関心に沿って、いろいろな遊具や道具などを使って遊びます。



先生や友達、地域の人など多様な人と関わる経験をします。

### <遊びを通しての総合的な指導>

遊びを通した総合的な指導を行っています。教師に見守られていると「おもしろそう」「やってみたい」と自ら積極的に遊びはじめます。興味・関心をもって、満足するまで遊ぶ中で、様々な体験を通して学び、次第に自立していき、生きる力の基礎を身に付けていきます

例えば、教師や友達と一緒に鬼遊びを楽しんでいる中で、幼児は走ったり、鬼に捕まらないように身をかわしたりします。遊びを通して、いろいろな動きを獲得し、繰り返し遊び込むことで走り方も走る速さも変わっていきます。鬼遊びは、ある程度の人数がいたほうが楽しく遊べるので、友達との関わりも増えます。

ときにはルールがあいまいで、トラブルになることもあるでしょう。このようなときに自分の思いを言葉で伝えることの大切さを知ったり、困ったことがあってもどうしたらもう一度楽しく遊べるのかを考えたりする力が身に付いていきます。教師がトラブル場面を貴重な学びのチャンスと捉え、援助することから、幼児は園庭の場の使い方を工夫する、新たなルールを考え出すなどして、達成感や満足感、充実感を味わい成長していくのです。

このように幼児期の教育は、幼児の自発的な活動である遊びを通して、心身の様々な能力が総合的に発達していくように行う教育なのです。

# 育みたい資質・能力につながる「遊び」になっていくためには？

幼児の興味や関心に沿って学んでいます  
4つの段階を繰り返しながら、  
教師は幼児の学びを支えています

## 第1段階：指導計画の作成

幼児にどのような資質・能力が育とうとしているのか、幼児が何に興味や関心をもっているのかを踏まえて、教師は幼児の成長にどのような体験が必要かを考えて、遊びや生活の計画を立てます。

## 第2段階：環境の構成

幼児がどのように遊ぶのかを予測し、豊かな体験を引き出すために、遊具や素材など必要なものや場を考えて整えます。

## 第3段階：教師の援助

遊びの様子に応じて、  
幼児一人一人の学びが確かなものになるように、言葉を掛けたり、一緒に遊んだり、見守ったりします。

## 第4段階：振り返り

保育後に、幼児が遊びを通して経験し学んでいることや様々な経験をバランスよく重ねているかなどについて指導の振り返りをします。

次の計画の作成につなげます

# 「興味や関心に沿った学び」って？

幼児が自ら選んだ遊びの中で、  
気付いたり感じたり考えたりすることです



うまくいかないことや失敗することも、「今度はこうしてみよう」「もっとこうしたい」という次の興味や関心につながる大切な機会です。

## 事例「3人で大きい海を作ろう！」

3人の子どもたちが、「大きい海を作ろう」と、遊び始めました。

トイを使って水を流し、水をためようとしませんが、砂に浸みるのが早くて水がたまりません。「水が砂に負けちゃう」「どうしてたまらないのかな？」と困ってしまいました。「たくさん水を入れないとだめだ」と考えて、3人同時に水を流してみましたが、うまくたまりません。「たくさん水を運ぶのは3人でも足りない」とさらに考えました。そこで、トイを水道までつなげて直接水を流すことを思いつきました。時間がかかりましたが、トイがつながりました。「トイを水道までつなげられた」「水が届いて海ができた」と、やっとのことで海ができて、自分たちでやり遂げた満足感や充実感を味わいました。

すると、さらに、「途中で漏れなかったらもっと大きい海になるんじゃない？」と気付きました。3人は「途中で水が漏らないようにトイをつなげる」と新しい目的をもちました。トイがぐらぐら動かないようにしっかり埋めることや、トイの重なりの上下を考えて揃えることなどに気がつきながら、遊びを続けていきました。

この遊びの中で、3人は、思いの行き違いからトラブルになることもありました。そのような場合でも、相手に自分の考えを伝えたり、自分の気持ちをコントロールしたりなど、いろいろなことを学ぶ姿が見られました。

# 幼稚園・幼保連携型認定こども

## 幼児を理解し、幼児の豊かな学びを支えています

幼児一人一人を理解することを大切にしています



幼児一人一人の動きや表情、言葉などから内面の理解を深め、幼児の主体性を大切にした保育を行っています。



幼児が思わず遊びたくなる環境や友達との関わりが生まれるきっかけをつくる工夫をしています。

保育が終わると、その日の出来事を話し合ったり保育記録を書いたりしながら、幼児をより深く理解したり、自分自身の指導を振り返ったりします。教師の願いを含めた環境を整えるために、教材研究もします。



遊びの中での幼児の気づきや学びを支える指導や環境を工夫しています

# 園で、教師は何をしているの？

## 質の高い幼児教育を追求しています

### 遊びの中で様々な体験を通して学ぶことを支えています

幼児は自らものや人と関わり遊びを楽しむ中で、多くのことを学びます。



教師は幼児の思いに共感し、一緒に考えたり、友達とのやり取りを支えたりします。教師の言動が幼児にとって、意欲を高めたり興味を広げたりするきっかけになるように心掛けています。



園外の研修会にも積極的に参加し、それぞれが学んだことを園内で共有し、日々の指導や園内の研究に役立て、幼児が様々な学びを得られる「質の高い教育」を追求しています。



### 研修・研究を積み重ね、教師も学び続けています

# 幼稚園教育・幼保連携型認定こども園の教育 小学校教育はつな

幼稚園や幼保連携型認定こども園では、学校教育のはじ  
小学校教育では、幼稚園や幼保連携型認定こども園

## 幼児期の終 育って

幼稚園や幼保連携型認定こども園の教師は、頭に思い浮かべながら幼児にかかわっています。

### 幼稚園・幼保連携型認定こども園

幼稚園・幼保連携型認定こども園の  
教育及び保育を  
5つの発達の窓からみています

#### 幼稚園・幼保連携型認定こども園

- 心身の健康に関する領域「健康」
- 人との関わりに関する領域「人間関係」
- 身近な環境との関わりに関する領域「環境」
- 言葉の獲得に関する領域「言葉」
- 感性と表現に関する領域「表現」

健康な心と体／自立心／  
識の芽生え／社会生活と  
え／自然との関わり・生  
識や文字などへの関心・  
い／豊かな感性と表現

実際の社会や生活で  
生きて働く

**知識及び技能**

学んだこと  
に生かそ

**学びに向  
人間**

幼稚園・幼保連携型認定こども園では、学校教育のはじまりとして「幼稚園教育等において育みたい資質・能力」を育みます(6頁参照)。

**学校教育全  
育成を目指**

# 及び保育と がっているの？

まりとして遊びや生活を通した学びを重視しています。  
も園での学びを踏まえた教育を行っています。

## わりまでに ほしい姿

協同性／道徳性・規範意  
の関わり／思考力の芽生  
命尊重／数量や図形、標  
感覚／言葉による伝え合

未知の状況にも対応できる

**思考力、判断力、  
表現力等**

を人生や社会  
うとする

**かう力、  
性等**

**体を通じて  
す資質・能力**

### 小 学 校

各教科等による  
教育を行っています

小 学 校	
教 科	国 語
	社 会
	算 数
	理 科
	生 活
	音 楽
	図画工作
	家 庭
	体 育
	外 国 語
特別の教科である道徳	
外国語活動	
総合的な学習の時間	
特別活動	

# 子育ての悩み、どうしてる？

## 幼稚園・幼保連携型認定こども園では 様々な子育ての支援をしています



親子で自然に触れて感じる時間

### 親子で楽しむ園生活

親子で楽しめるいろいろな遊びを全国国公立幼稚園・こども園長会 HP で紹介しています。体を動かす遊びや自然に触れて感じる遊び、音楽遊びなど、「やってみたい！」が見つかります。右のQRコードをスキャンしてください！



### 園は 共育での場所！

在園児保護者や未就園児親子対象に、子育て情報を発信したり、子育てひろばを開催したりしています。安心な子育てが広がるようにと願い、園や地域の実態に応じて様々な取り組みを行っています。



未就園児親子のふれあい遊びの会



保護者ボランティアの絵本読み聞かせ

### 保育ボランティア 大歓迎

ボランティアとして保育に参加すると家庭で見せる顔とは違う我が子の姿に出会えます。他の子に関わりながら我が子を見ると「こんな面があるのか！」と我が子の「良さ」を発見する機会にもなります。おすすめの体験です。

# 幼稚園・幼保連携型認定こども園では 多様な取り組みを行っています

## ✦ 食べることに親しむ活動

教師や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心が広がるよう、栽培活動や調理活動を行っています。保護者向け試食会も行い、家庭との連携を図っています。



## ✦ ICTを活用した情報発信等

テクノロジーを利用し効果的に教育を行う可能性として、出欠管理、保育内容についての発信等の取り組みが広がっています。教育活動への導入についてもな取り組みが始まっています。



## ✦ 学校保健、学校安全

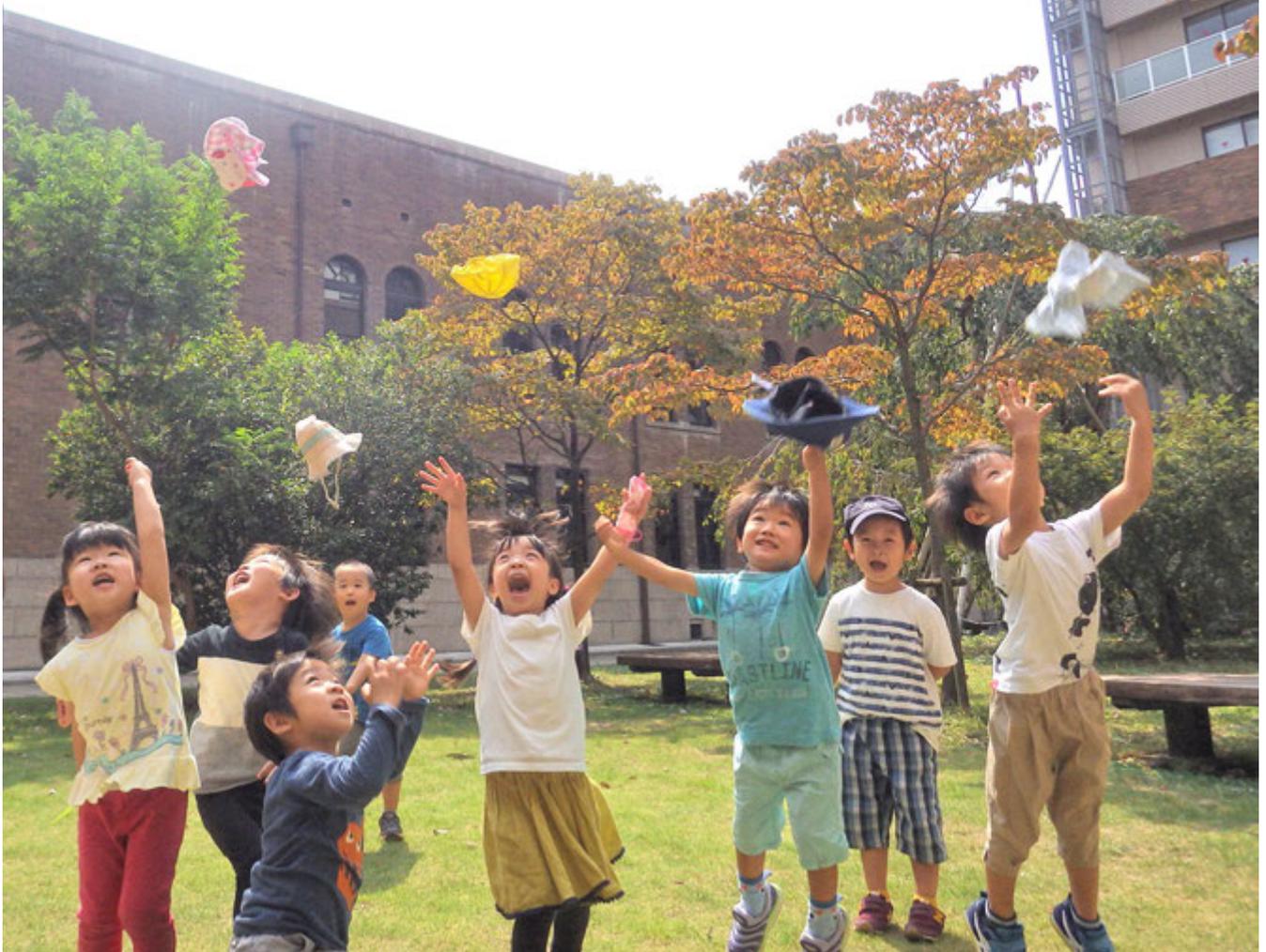
教職員による協力体制の下、幼児の主体的な活動を大切にしつつ、園環境の安全管理を徹底しています。

安全で清潔な生活環境の整備、災害時を想定した避難訓練等を計画的に実施しています。

## ✦ 特別な配慮を必要とする 幼児への指導

地域の諸機関と連携し、保護者との相互理解を基盤にして全体的な発達を促す援助を重視しています。幼児一人一人の多様なニーズに応える援助の在り方について、研修や研究を実施しています。

# —生きる力の基礎を育む幼児教育—



2019年度文部科学省委託研究  
幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究

## 「幼児一人一人が未来の創り手に—幼児教育Q&A—」

- \* 幼保連携型認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う施設であり、保護者が働いている、働いていないに関わらず利用可能です。
- \* 本書の活用にあたっては、合わせて一般社団法人保育教諭養成課程研究会と全国国公立幼稚園・こども園長会にて作成したパワーポイント及びその解説もご参照ください。
- \* 本書、パワーポイント及びその解説は、以下のホームページよりダウンロードできます。

一般社団法人保育教諭養成課程研究会  
全国国公立幼稚園・こども園長会

<http://youseikatei.com/>  
<http://kokkoyo.com/>

一般社団法人保育教諭養成課程研究会  
(協力団体：全国国公立幼稚園・こども園長会)

本「幼児一人一人が、未来の創り手に—幼児教育Q&A—」は、2019年度文部科学省委託研究「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究」委託業務として、一般社団法人保育教諭養成課程研究会が作成したものであり、著作権は文部科学省にあります。したがって、パンフレットの転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。なお、写真の使用につきましては、固く禁じます。